

# 文化財庭園保存技術者協議会 会報

2006.1 第7号

編集・発行：文化財庭園保存技術者協議会（代表：玉根徳四郎）

〒600-8361 京都市下京区大宮通花屋町上ル NPO みどりのまちづくり研究所内

TEL. 075-341-2600 FAX. 075-361-0961

評議会連絡所：〒606-8371 京都市左京区北白川瓜生山 2-116 京都造形芸術大学日本庭園研究センター

TEL. 075-791-9018 FAX. 075-791-9342

東京 連絡所：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-6-3 福田ビル 3F 文化財庭園保存技術研究センター

TEL. 03-3202-5233 FAX. 03-3202-5394

## 研修会のご案内

醍醐寺様と京都大学様に多大なるご協力を頂きまして、下記の通り研修会を開催いたします。

本年度の水処理管理技術を研修のテーマに、現在修復整備が行われている特別史跡及び特別名勝醍醐寺三宝院庭園にて、整備工事に携わられている技術者のご指導のもと、実地技能研修を実施いたします。また、教養研修では実際に修復整備に携わられている4名の講師をお招きし、各々の立場から具体的な事例を交えご講演頂きます。

新たな研修会場名勝清風荘庭園では、庭園についてのご解説を頂き、空間構成、管理方針について会員諸氏と討議しつつ、実地技能研修を行います。

両日とも大変活発な意見交換や技術交流が展開されます。ふるってご参加下さいますようご案内いたします。

### ●平成18年1月21日（土） 会場：醍醐寺（京都市伏見区醍醐東大路町22）

13:00 教養研修（公開講演・修証殿にて）

①「庭園における水処理技術について」

講師：尼崎博正氏（本協議会評議会会員）

②「醍醐寺三宝院庭園の埋蔵文化財調査」

講師：鈴木久男氏（財団法人京都市埋蔵文化財研究所 調査課長）

③「醍醐寺三宝院庭園修復整備事業について」

講師：吉村龍二氏（株式会社社環境事業計画研究所 代表取締役所長）

④「醍醐寺三宝院庭園修復整備の現時点での成果」

講師：今江秀史氏（京都市文化市民局文化財保護課 文化財保護技師）

14:45 実地技能研修 醍醐寺三宝院庭園 指導：尼崎博正氏（本協議会評議会会員）

古野榮作氏（本協議会正会員）

17:30 情報交換会（「御池酔心」にて会費5,000円）

住所：京都市中京区御池通烏丸東南角アーバネックス御池ビル地下1階 電話 075-223-6600

### ●平成18年1月22日（日） 会場：京都大学清風荘庭園（京都市左京区田中関田町7）

9:00 開会

9:10 解説「清風荘庭園について」 尼崎博正氏（本協議会評議会会員）

9:40 庭園見学 検討会

11:00 清風荘庭園 実地技能研修会

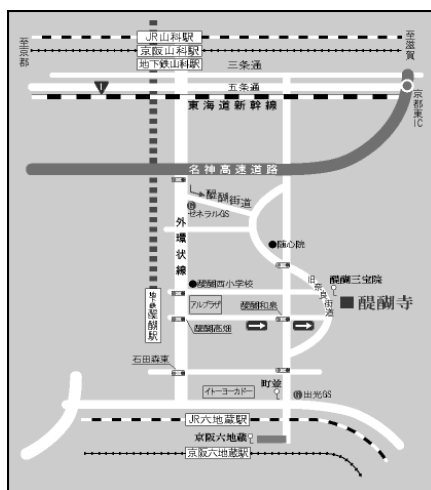
16:30 閉会

左地図：醍醐寺

右地図：清風荘

教養研修は一般公開いたしますので、どなたでもご参加頂けます。

ただし、事前のお申し込みが必要になりますので、事務局(TEL 075-341-2600)までお問い合わせ下さい。



## 平成 17 年度総会 第 1 回研修会開催される



教養研修の様子

さる6月10日(金)京都市白河院において文化庁、環境省、京都府、京都市より来賓を迎え、構成員100名うち出席者92名(うち委任状出席者52名)で総会を開催しました。

まず司会の事務局長代理松原法昭氏より開会の宣言があり、続いて代表玉根徳四郎氏より挨拶がありました。そのあと来賓を代表して、文化庁記念物課主任文化財調査官本中眞氏よりご挨拶をいただきました。

議事は総会資料にもとづき、第1号議事平成16年度事業報告、第2号議事平成16年度決算報告、第3号議事平成17年度事業計画、第4号議事平成17年度予算、第5号議事会則変更、第6号議事会員資格審査報告がありました。総会に引き続き教養研修が行われました。まず本中眞氏より「日本庭園の保護手法」について講演いただきました。文化財保護法に基づく名勝の定義の

説明があり、その中で人文的名勝と自然的名勝の特色を、事例を挙げて解説されました。さらに、行政、所有者、管理者、研究者、専門家、地域住民、設計者の連携、協力が大切であり、その中での本協議会の役割、期待を述べられました。続いて、赤穂市教育委員会生涯学習課文化財係長中田宗伯氏より「赤穂旧上水道」について講演いただきました。赤穂旧上水の設立から役割、城下町や城郭内に多数造られた池泉の成立基盤を、史料や発掘調査のスライドと併せて解説いただきました。赤穂城内にある復元整備された本丸庭園と現在復元整備が行われている二の丸庭園の池泉に至る導水の方法と配水の処理の特色を説明いただきました。

そのあと研修会場となった京都市指定名勝白河院庭園において、本協議会評議員尼崎博正氏の指導のもと実地技能研修が行われ、庭園の歴史や特徴、池泉に至る導水の方法と配水の特色について解説いただきました。また灯籠等の石造物や護岸石、石組みに使用されている石の石質について説明がありました。

11日(土)京都御苑内旧閑院宮邸庭園跡・祐ノ井庭園において実地技能研修を予定しておりましたが、天候不良のため中止となりました。そのため教養研修に切り替え、本協議会評議員龍居竹之介氏より「辰巳用水」について、そして尼崎博正氏より「南禅寺界限疎水園池群の水系」について講演いただきました。



実地技能研修の様子

12日(日)名勝無鄰菴および織實苑で尼崎博正氏、龍居竹之介氏のもと、実地技能研修を行いました。庭園の歴史の変遷や庭園管理の取り組み、また周辺地域の水系の関係と、池泉に至る導水の方法と配水の特色について解説がありました。

## 「庭園学講座 12」が開催される

さる8月19日(金)、20日(土)、21日(日)の3日間京都造形芸術大学主催「近代庭園と煎茶」をテーマに「庭園学講座 12」が開催されました。こちらは、本協議会の教養研修として位置付けており、12名の会員が参加しました。

19日(金)は京都造形芸術大学で、尼崎博正氏より「近代庭園と煎茶」の総論がありました。文献資料にみる明治期の庭園として東京の近代庭園の特徴と京都の近代庭園の特徴の説明があり、近代庭園の空間的特質にみられる煎茶的要素について解説されました。続いて京都造形芸術大学教授小川後楽氏により「煎茶文化」について、京都工芸繊維大学助教授矢ヶ崎善太郎氏より「文人達の数寄空間」について講義がありました。そのあと、小川後楽氏、矢ヶ崎善太郎氏の指導で、山紫水明処(頼山陽旧邸)、広誠院、旧木戸孝允邸、島津創業記念資料館にて現地研修が行われました。

20日(土)は清風荘で、京都大学大学院教授森本幸裕氏より「庭園の京都」について、尼崎博正氏より

「清風荘-住友春翠・西園寺公望と植治-」について講義がありました。続いて同会場で京都造形芸術大学助教授高梨武彦氏の指導で現地研修があり、植生状況の把握と管理方針について解説いただきました。そのあと大阪市立美術館学芸課長代理守谷雅史氏より「煎茶道具と近代煎茶空間」について講義がありました。そして会場を詩仙堂に移して小川後楽氏、矢ヶ崎善太郎氏の指導で現地研修が行われました。

21日(日)は京都市白沙村荘で名古屋工業大学大学院教授麓和善氏より「煎茶席と近代和風住宅」について講義がありました。続いて同会場で尼崎博正氏、本協議会事務局長補佐仲隆裕氏の指導で現地研修が行われました。そのあと会場を京都造形芸術大学に移し、本協議会評議員中村一氏・安原啓示氏・尼崎博正氏、京都造形芸術大学教授中村和則氏、矢ヶ崎善太郎氏、麓和善氏がパネリストとなりシンポジウム「近代庭園と煎茶」が開催されました。

### 「伝統の名匠」が開催される

さる9月23日(金)、24日(土)福岡県太宰府市九州国立博物館で、選定保存技術団体22団体が後継者育成の取り組みや、保存・伝承活動について報告される2005文化庁主催シンポジウム伝統的な文化財を守り伝える「伝統の名匠」が開催されました。本協議会は昨年度、今年度実施した京都での実技技能研修や岩手での技能・技術錬磨等の研修状況をパネル展示し、活動報告を行いました。日頃の活動がより多くの方々にご理解いただけたのではないかと思います。

### 技能・技術錬磨事業及び第2回文化財庭園フォーラムが開催される



技能・技術錬磨の様子

さる平成17年10月7日(金)～9日(日)の3日間、宮崎県日南市において、宮崎県日南市教育委員会との共催で、龍居竹之介氏、尼崎博正氏監修のもと、玉根徳四郎代表を筆頭に出席者9名で技能・技術錬磨事業及び文化財庭園フォーラムを開催しました。7日及び8日は旧報恩寺庭園を研修会場に技能・技術錬磨事業を実施しました。研修前の旧報恩寺庭園は、草が覆い茂り池の護岸や背景の地形が把握できない状況でした。どのように庭園空間をつくり、骨格を明らかにしていくのか行政関係者、評議員、会員諸氏で検討し、管理実技がすすめられました。池の護岸石積みを覆っていた草を除去し、こけむした中島の岩をあらわにし、庭園の骨格を明らかにさせ、またぼやけていた背景の庭園空間をつくるために、堆積土を除去し、実生の樹木の伐採、剪定を行いました。その結果、庭園の姿が蘇り、庭園としての価値を一層高めることができました。

8日午後は、石田裕二氏の司会で庭園の特徴や技術者がどのように作業を行っているのか解説を交え、地域の方々に理解を深めていただきました。9日は日南市国際交流センター小村記念館にてシンポジウムを開催しました。第1部講演会は「文化財庭園の世界」をテーマに講演いただきました。講演1では、文化庁記念物課文化財調査官平澤毅氏より「日本の名勝について」、文化財の保護制度と名勝の定義を説明され、現在の名勝指定庭園をスライドを使いながら解説していただきました。講演2は南九州大学環境造園学部教授北川義男氏より「宮崎の庭園について」、庭園の特色や研修会場となった飲肥の古庭園群をはじめとする文化財庭園の特徴を説明され、これからの文化財庭園の保存と継承について解説いただきました。講演3は京都造形芸術大学副学長尼崎博正氏より「文化財庭園保存管理技術について」、その保存管理の理念や技術について説明され、



見学会の様子

また今回の旧報恩寺庭園での研修状況や本協議会が実施してきた研修成果を解説いただきました。

第2部パネルディスカッションは「文化財庭園を維持する」をテーマにすすめられました。コーディネーターに文化財指定庭園保護協議会会長樋渡達也氏、パネラーに鹿児島県知覧町教育委員会文化財課主事若松重弘氏、宮崎県日向市教育委員会社会教育課係長緒方博文氏、宮崎県日南市教育委員会社会教育課課長補佐岡本武憲氏、龍居竹之介氏をむかえ、それぞれ地域の庭園文化の特徴を解説いただきました。またその地域の文化財庭園を維持するための工夫や課題をあげられ、どのように取り組まれているか等々討論が交わされました。



パネルディスカッションの様子

### 平成 17 年度 特別技能研修のご案内

今年度で4回目を迎える特別技能研修は後継者育成事業として研修会員を対象に技術の向上を図る研修です。昨年は2月12～14日の3カ間で8名の研修会員が参加し、滋賀県の名勝庭園である慶雲館庭園、青岸寺庭園、徳源院庭園、玄宮楽々園、彦根城にて研修を行いました。各庭園を日頃維持管理されている会員の方々の指導のもと、管理の工夫や課題を解説いただき現地研修を行いました。また玄宮楽々園、彦根城では実際にはさみを使い剪定管理実技を行いました。

今年度も昨年度のように本協議会会員が管理されている庭園を研修会場として庭園管理技術の見学や、現地での技能研修を予定しております。日程や会場、研修内容の詳細につきましては現在調整しております。詳細が決まり次第ご案内させていただきます。

### 平成 17 年度 関東研修のご案内

昨年度は2月8日、9日の両日で神奈川県鎌倉市の建長寺、瑞泉寺、円覚寺、旧永福寺で開催いたしました関東地方での研修会を、今年は3月に開催する計画を進めております。

会場、日程、研修会内容につきましては、現在調整中です。詳細が決まり次第、ご案内させていただきます。

## 事務局より

### 新規加入会員の紹介

平成17年末で技能会員は87名となりました。ここに新規会員になられた方をご紹介します。

- 賛助会員  
瑞泉寺 神奈川県所在
- 技能会員

会員種別	氏名	所属	所在
準会員	牧岡 一生	庭舎 MAKIOKA	奈良県
研修会員	立花 武志	(有)立花造園	石川県
研修会員	大島 尚子	(有)大島造園	福島県
研修会員	小池 高寛	(株)庭勇	岐阜県
審査中	安達 誠	(有)植富	島根県
審査中	西村 金造		京都府
審査中	小杉 忠広	(株)小杉造園	静岡県
審査中	西村 大造		京都府
審査中	平井 幸輝	(株)緑輝造園	京都府

編集後記：▼平成18年に入りました。関係者の多大なご協力があり、会員数がどんどん増えております。今後ご関心のある方のご紹介をよろしくお願いいたします。ますます充実した研修内容にして参りたいと思いますので、研修会場・研修内容等でご意見をお持ちの方は、事務局までご一報下さいませ。▼